(担当:佐藤 弘康)

問題 **4.1.** 座標平面において方程式 $y=2x^2+3x+1$ を満たす点 (x,y) の集まり(放物線)を \mathcal{C} とする。平行移動 $f(\vec{p})=\vec{p}+\vec{d}$ により, \mathcal{C} を変換した図形の方程式が $y=ax^2$ になった。このとき,ベクトル \vec{d} と定数 a を求めなさい。

問題 **4.2.** f を行列 $A = \begin{pmatrix} \frac{1}{\sqrt{2}} & -\frac{1}{\sqrt{2}} \\ \frac{1}{\sqrt{2}} & \frac{1}{\sqrt{2}} \end{pmatrix}$ に対して $f(\vec{p}) = A\vec{p}$ で定義される線形変換とする.また,方程式 $x^2 - y^2 = 1$ を満たす点 (x,y) の集まりを C とする.このとき,C を f で変換した図形の方程式を求めなさい.

問題 **4.3** (合成変換). 正方行列 A_1, A_2 とベクトル $\vec{d_1}, \vec{d_2}$ に対し、アフィン変換 f, g を

$$f(\vec{p}) = A_1 \vec{p} + \vec{d_1}, \qquad g(\vec{p}) = A_2 \vec{p} + \vec{d_2}$$

と定義する. このとき、合成変換 $f\circ g$ および $g\circ f$ を $A_1,A_2,\vec{d_1},\vec{d_2}$ を用いて表しなさい.

問題 4.4 (逆変換). 正方行列 A とベクトル \vec{d} を用いて

$$f(\vec{p}) = A\vec{p} + \vec{d}$$

と定義されるアフィン変換 f が全単射のとき,f の逆変換 f^{-1} を A, \vec{d} を用いて表しなさい.

□ 平面における主な線形変換

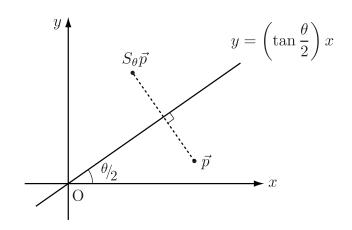
(1) 拡大と縮小, 相似変換

$$\bullet \begin{pmatrix} k & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{cases} k > 1 \text{ obs}, x 軸方向の拡大} \\ 0 < k < 1 \text{ obs}, x 軸方向の縮小 \\ k < 0 \text{ obs}, x 軸方向に"裏返して"拡大,縮小 \\ \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & k \end{pmatrix} \end{cases} \begin{cases} k > 1 \text{ obs}, x 軸方向に"裏返して"拡大,縮小 \\ 0 < k < 1 \text{ obs}, y 軸方向の拡大 \\ 0 < k < 1 \text{ obs}, y 軸方向の縮小 \\ k < 0 \text{ obs}, y 軸方向に"裏返して"拡大,縮小 \\ \begin{pmatrix} k & 0 \\ 0 & k \end{pmatrix} \end{cases} \begin{cases} |k| > 1 \text{ obs}, H似拡大 \\ 0 < |k| < 1 \text{ obs}, H似縮小 \end{cases}$$

$$(2) せん断: \begin{pmatrix} 1 & k \\ 0 & 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ k & 1 \end{pmatrix}$$

$$(3) 原点を中心とする回転変換: $R_{\theta} = \begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta \\ \sin \theta & \cos \theta \end{pmatrix}$$$

(4) 直線 $y = (\tan \frac{\theta}{2}) x$ に関する対称移動: $S_{\theta} = \begin{pmatrix} \cos \theta & \sin \theta \\ \sin \theta & -\cos \theta \end{pmatrix}$



問題 4.5. 行列 S_{θ} について、以下の問に答えなさい。

- (1) $\vec{p} = (x, y)$ とおき、 $S_{\theta} \vec{p}$ を成分表示しなさい。
- (2) ベクトル $(\vec{p} S_{\theta}\vec{p})$ とベクトル $(1, \tan \frac{\theta}{2})$ が直交することを示しなさい.
- (3) 点 \vec{p} と点 $S_{\theta}\vec{p}$ の中点 $\frac{1}{2}(\vec{p}+S_{\theta}\vec{p})$ が直線 $y=(\tan\frac{\theta}{2})x$ 上の点であることを示しな
- (4) S_{θ} が直交行列であることを示しなさい.
- (5) S_{θ} の行列式を求めなさい.

問題 **4.6.** 行列 R_{θ} , S_{θ} , $B=S_{0}=\begin{pmatrix}1&0\\0&-1\end{pmatrix}$ を表現行列とする線形変換をそれぞれ f_{θ} , g_{θ} , h とする。つまり, $\theta(\vec{p})=R_{\theta}\vec{p}$, $g_{\theta}(\vec{p})=S_{\theta}\vec{p}$, $h(\vec{p})=B\vec{p}$. このとき, 次の問に答えなさい。

- (1) $f_{\theta} \circ f_{\varphi} = f_{\theta+\varphi}$ を示しなさい.
- (2) $g_{\theta} \circ g_{\varphi} = f_{\theta-\varphi}$ を示しなさい.
- (3) $f_{\theta}^{-1} = f_{-\theta}$ を示しなさい.
- (4) $g_{\theta}^{-1} = g_{\theta}$ を示しなさい.
- (5) h はある直線に関する対称移動である。どういう直線か説明しなさい。
- (6) $f_{\theta} = g_{\theta} \circ h$ を示しなさい.

(担当:佐藤 弘康)

□ 空間における主な線形変換

(1) 拡大・縮小, 相似変換

$$\left(\begin{array}{ccc} k & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{array}\right), \quad \left(\begin{array}{ccc} 1 & 0 & 0 \\ 0 & k & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{array}\right), \quad \left(\begin{array}{ccc} 1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & k \end{array}\right), \quad \left(\begin{array}{ccc} k & 0 & 0 \\ 0 & k & 0 \\ 0 & 0 & k \end{array}\right)$$

(2) せん断

$$\begin{pmatrix} 1 & k & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \\ 1 & 0 & 0 \\ k & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}, \quad \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & k \\ 0 & 0 & 1 \\ 1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & k & 1 \end{pmatrix}, \quad \begin{pmatrix} 1 & 0 & k \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \\ 1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ k & 0 & 1 \end{pmatrix}$$

- (3) 回転変換
 - ・ z 軸を回転軸とする回転; $R_{z(\theta)}=\begin{pmatrix}\cos\theta & -\sin\theta & 0 \\ \sin\theta & \cos\theta & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}$ ・ x 軸を回転軸とする回転; $R_{x(\theta)}=\begin{pmatrix}1&0&0\\0&\cos\theta & -\sin\theta\\0&\sin\theta & \cos\theta\end{pmatrix}$ ・ y 軸を回転軸とする回転; $R_{y(\theta)}=\begin{pmatrix}\cos\theta & 0 & -\sin\theta\\0&1&0\\\sin\theta & 0&\cos\theta\end{pmatrix}$

 - 原点を通り、方向ベクトルが $\vec{v} = (a, b, c)$ の直線を回転軸とする回転;

 $R_{(a,b,c;\theta)}$

$$= \begin{pmatrix} \cos\theta + (1-\cos\theta)a^2 & (1-\cos\theta)ab - c\sin\theta & (1-\cos\theta)ca + b\sin\theta \\ (1-\cos\theta)ab + c\sin\theta & \cos\theta + (1-\cos\theta)b^2 & (1-\cos\theta)bc - a\sin\theta \\ (1-\cos\theta)ca - b\sin\theta & (1-\cos\theta)bc + a\sin\theta & \cos\theta + (1-\cos\theta)c^2 \end{pmatrix}$$

ただし、 $a^2 + b^2 + c^2 = 1$.

(4) 平面
$$ax+by+cz=0$$
 に関する鏡映変換: $S_{(a,b,c)}=\begin{pmatrix} 1-2a^2 & -2ab & -2ac \\ -2ab & 1-2b^2 & -2bc \\ -2ac & -2bc & 1-2c^2 \end{pmatrix}$ ただし、 $a^2+b^2+c^2=1$.

(担当:佐藤 弘康)

問題 4.7. 空間における回転行列 $R_{x(\theta)}, R_{y(\theta)}, R_{z(\theta)}, R_{(a.b.c:\theta)}$ について,

$$R_{(1,0,0;\theta)} = R_{x(\theta)}, \quad R_{(0,1,0;\theta)} = R_{y(\theta)}, \quad R_{(0,0,1;\theta)} = R_{z(\theta)}$$

が成り立つことを示しなさい.

問題 4.8 (対称移動を理解するための問題). 行列

$$S_{(a,b,c)} = \begin{pmatrix} 1 - 2a^2 & -2ab & -2ac \\ -2ab & 1 - 2b^2 & -2bc \\ -2ac & -2bc & 1 - 2c^2 \end{pmatrix}$$

(ただし, $a^2 + b^2 + c^2 = 1$) について, 以下の問に答えなさい.

- (1) $\vec{p} = (x, y, z)$ とおき、 $S_{(a,b,c)}\vec{p}$ を成分表示しなさい。
- (2) ベクトル $(\vec{p}-S_{(a,b,c)}\vec{p})$ がベクトル (a,b,c) と平行であることを確かめなさい.
- (3) 点 \vec{p} と点 $S_{(a,b,c)}\vec{p}$ の中点 $\frac{1}{2}(\vec{p}+S_{(a,b,c)}\vec{p})$ が平面ax+by+cz=0上の点であることを確かめなさい。
- (4) $S_{(a,b,c)}$ が直交行列であることを示しなさい.
- (5) $S_{(a,b,c)}$ の行列式を求めなさい.